



檀原市議会議員

西岡じろう通信

発行:西岡 次郎 檀原市川西町938-49 TEL0744-27-5549

令和6年3月議会 一般質問(要旨)

福祉センター「やわらぎの郷」 閉館後の活用について

やわらぎの郷は、平成8年より温浴設備を伴う多世代間交流とレクリエーションの場として市民の福祉と健康の場を提供してきた。

平成31年4月からの5年間を、第3期として指定管理業者に委託し、指定管理期間が今年度末で契約満了となり、3月末で閉館となった。

当施設を今後継続していくとなると、年間費用約1億円、建築後27年を経過し老朽化により2、3年後には大規模改修として約2億円必要になる。



入館者数は平成20年14万6千89名だがコロナ禍もあり、令和4年は8万5千569名である。

公明党市議団は、この現状をふまえた結果、やむなく閉館には賛成。

しかし、やわらぎの郷は、ご利用されている地域の方々、特に高齢者の方々の憩いの場になっており、また避難所としての役割を思うと、閉館後の活用についてしっかりと取り組んでいく必要性を感じていた。このため、

令和5年9月27日、亀田市長に「やわらぎの郷、閉館後の活用について」

- ① より多くの市民の「憩いの場」となる施設整備
- ② 市民の健康増進、特に介護予防に資する施設整備
- ③ 災害時、市民の安全・安心確保の避難所施設の整備
- ④ 官民連携による、民間活力を活かした施設整備
- ⑤ 経費削減、国の補助金・交付金等の有効活用



を緊急要望させて頂いた。やわらぎの郷を利用されている地域の方々、高齢者の方々のコミュニティとなっている。また、避難場所としての、この施設の閉館後の活用をぜひともお願いしたい。

問 当施設は、温浴設備を伴う多世代間交流とレクリエーションの場として、市民の福祉と健康の場を提供してきた。より多くの市民の憩いの場や健康増進、介護予防に資する施設として整備を要望したが、どのように考えているか。

答 閉館に至った理由の一つに経年劣化による多額の修繕費が必要であり、同様の形での市民の憩いの場を提供するために、修繕し継続することは考えていない。(裏面へ続く)

ご意見/ご要望/市民相談等こちら

西岡 じろう

携帯：090-1484-7250

E-mail:jiro1934rita@gmail.com



X(旧Twitter)



Facebook



Instagram

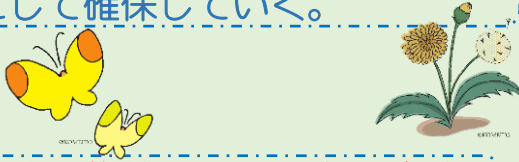


HP

(表面からの続き)

問 当施設は指定避難所であるが、閉館後の避難場所についての進捗は

答 指定避難所としての重要性は十分認識している。3月末で閉館だが、次年度以降は1年間のライフライン関連の予算化を行い、次の活用が決定するまでは、指定避難所として最低限の機能は保持した状態でこれまで通り指定避難所として確保していく。



問 閉館後の施策として、官民連携による、民間活力を生かした施設整備についての考えは

答 施設及び土地の活用については庁議(市の会議)で意見も聞き、全庁において利活用の要望や意見の募集を行った。

閉館後は、市における利活用の実現性の検討も含め、市有財産活用の観点から、地元の意見等も聞きながら民間活力の利用についても検討していきたい。



一般質問の動画はこちらから



2番 西岡 次郎 議員



日々の活動の一部

待機児童対策について

問 市における待機児童対策は。

答 近隣の市町村や大阪の保育士への処遇を見極めながら、処遇改善に対して十分協議していく。また、新たな施策も必要であり、現在検討しているのは、既存の私立保育園、認定こども園の定員拡大に繋がる増床、増築や分園の開設への支援と、新たな民間保育園・認定こども園の誘致である。新たな受け皿を用意することで待機児童の解消を図っていきたい。

市長 原因の多くは、保育士不足によるものであり、待機児童解消は喫緊の課題である。保育士の確保だけでなく、前述の様に、あらゆる方向から取組み、様々な体制を整えていく。

災害時の対策について

問 災害時の対策、簡易トイレの管理計画について

答 トイレの確保・管理計画は、現在策定していないが、想定避難者数を基に備蓄計画を作成し、避難所に設置するマンホール型や身障者用の簡易トイレ等の備蓄を進めている。補正予算も視野に、計画性を持って備蓄できるように検討する。災害時の対応として、トイレ供給支援に関する防災協定を締結し、流通備蓄としての支援や国のプッシュ型支援等を活用した対策を実施したい。

流山市、調布市へ視察(待機児童対策) (R6.1月)



市民相談 上水道の鉄蓋の補修 (西池尻町) (R6.1月)



本庁舎 解体セレモニー (R6.2月)



令和6年度 (R6.2月) 能登半島地震 被災者救援募金

県内27ヵ所で公明党議員が{被災者救援の会}に協力 義援金は日本赤十字へ



日頃より温かいご支援を賜り、誠にありがとうございます。本年度は「文教常任委員会」に所属します。委員長として、しっかりと取り組んでまいります！